

「百人一步」通信

「一人の百歩より百人の一步」の社会を作ろう

今井和夫とともに歩む

「百人一步の会」

代表 今井和夫

〒671-3211

兵庫県宍粟市千種町岩野辺 1065

090-9610-2511

hyakunin-ippo@imaifarm.jp

この通信が出される頃は、桜の花も咲いているでしょうか。イネの籾種も発芽が進んでいることでしょうか。

長かった雪の冬も終わりました。「冬のあとには必ず春が」当たり前ですが、ホントにありがたいです。春の日差しが身にしみます。

1号・2号の『百人一步』通信、多くの方から共感の言葉を頂きました。そして、同様の思いを本当に多くの方が持たれていることを、地域を回りつつ実感します。

「結婚するときにはまさか田舎がこんなになるとは思わなかった。」「この先、この地域は、いや日本はどうなっていくのだろう。頑張っ〜」と涙ながらに握手して下さる方もおられました。こちら感激と責任で目頭が熱くなります。

あるいは、「私は田舎にずっと住みたいから」と地元で就職する道を選んだ若者にも出会いました。一筋の光です。

その若者の地元に残るといふ決意を、決して後悔させないためにも、私達は本当に頑張らねばと思います。

前号までは農業の視点から書かせて頂きましたが、今号は違う視点で書いてみます。

さまざまな自給のしくみを作ろう

地方が生き残っていく、もう一つの大きな視点は『自給』だと思います。宍粟市には素晴らしいもの・宝がたくさんあります。それを最大限に活かす「自給的地域」。特に、食料、木材、エネルギー、教育、福祉での自給です。

食料の自給

一般に売られている食料品。ほとんどが宍粟市外でできた物ばかりです。輸入品も多いです。飲食店で食べるものの材料も同じです。

例えば、これが全部宍粟産に変われば、どれだけの雇用が生まれるでしょうか。農家・加工業者、多くの新たな仕事が生まれます。

特に食料は、できるだけ地元でできた物を食べることが、健康の面でもとても大切です。誰がどこでどうやって作ったか分かる物を食べることに。

栄養価も実は全然違います。化学肥料と農薬で大量につくられる野菜は栄養がかけています。あるいは、半調理の状態輸入される総菜は煮汁と一緒に多くの栄養が捨てられています。例えば、同じニンジンでも栄養価が全然違うのです。ミネラルが欠けている野菜は苦くておいしくなく野菜嫌いにもつながります。

このように栄養不足、あるいは、体に悪い添加物が入った食品をずっと食べていけば、必ず体に影響が出ます。結局、安いと思って食べていたら、医者代がかかって返って高くつく結果になるかもしれません。

農業の面でも、例えば、宍粟市民が食べる大豆と麦、家畜の飼料をもし全部市内産にできれば、どれだけの農地が生き延びることでしょうか。豆腐・納豆・味噌・小麦粉・卵・肉、…みんな宍粟産でできれば、どれだけおいしく、どれだけ雇用がうまれるでしょうか。



すでに、宍粟市学校給食では、コメはもちろん、大豆と料理用の麦を市内で作ってもらい、味噌・小麦粉は独自で作り自給されています。素晴らしい取り組みです。それを市民全員に広げていけばどうでしょうか。

もちろん、あんまり高ければ買えないので、行政のいろんな助成が必要になってくると思います。また、市民も少しくらい高くても、安全面、地元で仕事を作るといふ観点で、地元でできた物を優先的に食べるという気持ちが大事かと思っています。それは回り回って、必ず自分のためにもなると思います。市民、行政、議会が一体となって進めていく価値は十分あると思います。

教育の自給〜宍粟を担う子どもを育てよう

次に、地方が生き残るのに必ず必要なことは、地方に誇りを持てる教育、地方の素晴らしさをしっかり伝える教育だと思います。

戦後、特に高度成長期以降、「地方」はともすれば軽んじられてきたように思います。でも、地方には都会にはない、素晴らしい命の営みがあります。人のつながりがあります。優しさがあります。そして、地方の役割、重要性があります。それをしっかり伝える教育が必要だと思います。

その一番は体験学習でしょう。都会にはカエルを知らない子がたくさんいるそうです。つまり田んぼを知らない。鶏はもちろん、犬、ネコもさわったことがない子もたくさんいます。みんなゲームの中の生き物です。

フランスの子どもは、「牛乳は温かい」というそうです。小学校で牛の乳搾り体験をさせるらしいです。日本の子どもは牛乳は冷蔵庫に入っている物で「冷たい」といいます。

卵も産みたては温かいです。うちでは、時々小学生がエサやり体験などに来るのですが、産みたての卵の温かさに驚きます。その時、鶏をダッコすることもすすめます。初めはこわごわの子もすぐに慣れます。鶏の温かさを知って欲しいのです。それを知らない子は卵は機械から生まれてくるのと同じ感覚でとらえるかもしれません。卵は生き物が必死になって産んでいる物だということのを分かってもらいたいです。牛乳も田んぼも皆同じですね。